

喘息について、気になるアレコレにお答えします！

喘息Q&A



喘息の人も、喘息かも？と不安な人もぜひ読んでほしいっぴ



気管支喘息とその治療について、日々の外来で患者さんやご家族の方から寄せられた疑問にQ&Aの形式でお答えします。

Q 咳が長く続くのですが、これも喘息ですか？

咳が2週間以上続いており、「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という音(喘鳴)が出る場合には喘息の可能性が高いです。喘鳴がない場合は、咳喘息やアトピー咳嗽など様々な原因を鑑別する必要があります。咳喘息に関しては、約3割の人が喘息へ移行するといわれていますので、早めに治療を開始することが大切です。



Q 喘息が悪くなる時間帯や季節はありますか？

喘息患者さんの症状は1日の間に変動が認められます。また、季節や気候の影響も受けやすいので注意が必要です。

喘息が悪化しやすい時間帯や季節

- ☑ 1日のうちで気道が不安定な状態になる、午前2時～4時頃
- ☑ 季節の変わり目、気候が不安定なとき
- ☑ 1日の温度差が激しいとき
- ☑ 梅雨の時期
- ☑ 台風が近付いたとき
- ☑ 風邪・インフルエンザなどの気道感染の影響を受けたとき
- ☑ 花粉・黄砂などの影響を受けたとき
- ☑ ダニなどのアレルゲンに晒されたとき。春と秋はアレルゲンが増えるので要注意。

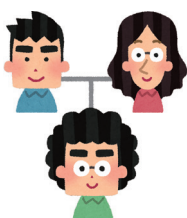
Q 喘息の発作が起きなくなったので、薬をやめてもいいですか？

喘息の症状が治まったからといって薬を中断してしまうと、症状が再燃してしまうことがあります。今までの症状の経過や治療歴、季節性の変動や悪化因子などを十分検討しながら治療方針を一緒に決定していきましょう。



Q 喘息は遺伝するのでしょうか？

喘息は遺伝する可能性がありますが、まだはっきりとはわかっていません。アレルギーになりやすい体質は遺伝することがありますので、家族の中でアレルギー疾患を持っている方がいる場合には喘息になる可能性があります。



Q ペットは飼ってもいいですか？

動物と触れ合ったり、近くにいるだけで症状が出てしまう場合は、飼わないか屋外で飼育するなどの配慮が必要になります。まずは、飼いたい動物が自分にとってのアレルゲンかどうか、血液検査を受けて調べましょう。



Q スポーツをしてもよいのですか？

運動することは、呼吸機能の改善や肥満の解消により喘息にとって様々な利点をもたらします。ただし、運動により一時的に喘鳴や呼吸困難が起こる「運動誘発喘息」に注意しましょう。運動誘発喘息が出現する場合には、長期管理薬や喘息のコントロールを見直すことが大切です。



Doctor
コラム

梅雨～夏はカビに要注意!



梅雨から夏の時期は高温多湿となり、古い木造家屋や密閉度の高いマンション、エアコンなどの空調設備内でカビが発生しやすくなります。実はこのカビが原因で熱や咳などの夏風邪に似た症状が長引くことがあります。これらは夏風邪とは異なる『過敏性肺臓炎』という疾患で、カビや細菌などに対するアレルギー反応により引き起こされる肺炎です。軽症であれば原因抗原の除去(家屋や空調設備の掃除、環境からの隔離など)のみで症状が改善しますが、中等症以上では酸素吸入やステロイド治療が必要になる場合もあります。熱や咳などの夏風邪症状を繰り返したり、空調設備を使用すると体調が悪くなったりする方は、『過敏性肺臓炎』が原因かもしれません。熱や咳などの症状でお困りの方は、当院までお気軽にご相談下さい。

